

第6回吉見町立学校適正規模等検討委員会 次第

日 時：令和3年12月22日（水）

午後2時00分～

場 所：図書交流館 会議室

1. 開 会

2. 委員長あいさつ

3. 議 事
 - (1) 前回会議録の承認について
 - (2) 学校の適正規模・適正配置の検討について
 - (3) その他

4. その他

5. 閉 会

【配布資料一覧】

- (1) 第5回吉見町立学校適正規模等検討委員会会議録
- (2) グループ討議の結果（第2回）【資料1】
- (3) 1校への統合再編（案）【資料2】
- (4) 「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」説明会結果概要【資料3】

グループ討議の結果（第2回）

| 件名 | 班別 | 意見等 |
|-----------------------------------|----|--|
| <p>【検討1】</p> <p>小学校数はいくつにするのか</p> | A班 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者アンケート等踏まえば、2学級以上となるよう、まず3校ずつで統合し2校とし、その後、1校に統合するというビジョンを保護者に対し示すことも1つの方法と思う。 ・住民の感情を考えると、川島町と同じように、新しい学校名を付け、校章、校歌も新しくするという選択肢もあるだろうが、最終的に1校に至るまでには、相当の時間と労力が必要になるのは明らかである。 ・地域に根付いた学校がなくなるという事で、その地域の方々の感情はどうなのかと思う。それであれば、新たな1校で一気に統合した方がいいこともあると思う。 ・維持管理の面で言えば、1校がいいのは明らかだが、保護者の理解が得られるかどうか。保育所と同様に1校にして、校舎も一気に新しくする方が保護者や町民皆さんの理解は得られやすいと思う。 ・3校の統合では、令和7年には単学級となる学年が出てくるが、1学級の人数を30人以下にすれば解消されるのではないかと。 ・資料2「児童数の将来推移」では、現在の未満児がそのままシフトしているが、実際には入学時にはもっと増えると思う。 ・東二小を例にすると、少人数のメリットもあると思うが、人数が多い方のメリットが大きいのかなと思う。 ・東二小を視察し、現状を目の当たりにすると、あまり時間をかけずに解消できた方がいいと思う。 ・資料3「小学校の保有教室」では、西小以外は全学年が2学級以上だと収まらない。そうなる段階的な統合再編はどうなのかなと思う。 ・現状、小学校校舎はかなりの建築年数経っており、普通教室が増えるとなれば、大規模なリフォームあるいは増築も必要になるかもしれない。 ・A班としては、「小学校は最終的に1校とする」ことを方向性とする。 |
| | B班 | <ul style="list-style-type: none"> ・少人数の小学校から中学へ進むと、最初のうちは友達が少ないため馴染みにくいということがあったと聞いた。 ・東二小のように5人、6人という少人数から、大きなところへ急に入るとどうなるかということも検討してほしい。 ・東二小の人数の少なさを解消する方法があるのか。 ・小規模校のデメリットを解消する1つの解決策として、東二小と西が丘小、合同で修学旅行に行くといった取り組みは行われている。 ・最終的に1校はいいのだが、段階的に進めた方がいいのではないかと。 |

| | | |
|--------------------------------|----------------|---|
| | | <p>いきなり1校にするのではなく、児童の少ない小学校だけ統合してはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段階的に進めるとして、教室数が足りるのか、また、場所はどうかという問題は難しいと思う。 ・段階的に行った場合、最終的に1つにするための時間が、より多くかかってしまうと思う。 ・2つあるいは、3つの学校をただくっつければいいということではすまない。例えば、川島町の小学校は4つの学校を2つにして、学校名を変え、校歌も全部作り直した。 ・保護者の方や学校の先生方、また役場の職員も段階的にやった場合、第一段階でエネルギーを使ってしまうと、すぐに次の段階に進めるのかという疑問はある。 ・資料2を見ると、3校で統合しても令和9年には、単学級が発生してしまうことを考えると、できるだけ早く1校にするのであれば、段階的に進めるよりも、1回ですべての学校が統合した方が最短かと思う。 ・令和9年度を目途に、1段階で統合することを方向性とする。 |
| <p>【検討2】 統合し、どこに配置するのか</p> | <p>A 班</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の付近に新たな小学校を造るとして、体育館やプールは小学校専用のものが必要であるし、グラウンドも小・中で共用は、危険も伴うため難しいと思う。それだけの敷地も足りないと思う。 ・フレサよしみ付近であれば、確保できる敷地は広く確保できると思う。ただし、ハザードマップで水害のある区域に指定されている。 ・私自身も経験があるが、広い敷地を確保することはとても難しいことで、全ての用地を新たに取得となると更に難しい。既に町が所有する土地を利用できればいいとは思う。 ・フレサよしみ付近は、町の中心部になりえる場所と思う。しかし、ハザードマップ上で浸水区域になっていることを考えると、西地区も検討の余地はあると思う。 ・西地区に新設だと、小中連携という点では離れている気がする。 ・フレサよしみ付近は、図書館などの施設が集中しているので、魅力はあると思う。 ・フレサよしみに近ければ、ふれあい広場も使え、広い駐車場もあり、いいと思う。 ・ふれあい広場やB&Gプールが小学校の専用として利用できるのかは疑問である。 ・ハザードマップの浸水区域に新たに設置となれば、相応の理由が必要になると思われる。 ・やはり浸水区域に建設するのであれば、子どもたちの安全確保という点で水害対策や地震対策は必要だと思う。 |

| | | |
|----------------------|----|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> どこに設置するにしても、子どもたちの安全対策に十分配慮するよう委員会として、教育委員会に要望していきたい。 A班としては、フレサよしみや吉見中などを含めた「吉見町の中央付近に新たな校舎を建設する」ことを方向性とし、併せて、子どもたちの安全対策に十分配慮することを要望する。 |
| | B班 | <ul style="list-style-type: none"> 中学校の敷地に新たに建設するだけのスペースはあるのか。 吉見中はグラウンドも広く、有効なスペースはあると思う。また、今後、部活の減少により、更に使えるスペースは増えるのではないか。 1校に統合した場合、既存の小学校では、一番大きい西小でも教室が足りないことを考えると、増築するか、新たに校舎を作るかのどちらかになってしまう。 普通教室が3学級×6学年の18学級だと、理科室や音楽室等の特別教室のほか、準備室等も含めると、今の倍の数が必要となるので、増築では追いつかないかもしれない。 フレサよしみの一角に建設すれば、既存の体育館や保育所、図書館も新しくなり、連携も取りやすいと思う。しかし、ある程度早く完成させるのであれば、土地の選定や地権者からの購入等に時間がかかるのはどうかと思う。ハザードマップの問題もある。 ハザードマップの問題はあるだろうが、土台を高くすればいいのではないか。 新たに校舎を建設するか、今の校舎を取り壊して改築という事で言うと、改築の方が費用は抑えられるかもしれない。 統合するのであれば、吉見町の中心付近は外せないと思う。 吉見中学校を含むフレサよしみ近辺を方向性とする。 |
| 【検討3】 いつの開校を目指すのか | A班 | <ul style="list-style-type: none"> 例えばフレサよしみの駐車場を利用することができれば、造成等に時間をかけずに新たな校舎を造ることは可能だと思う。その場合、現在の田んぼを駐車場にすれば駐車場が不足することもないのではないかと思う。 場所が決まったとしても、建築確認やその他手続き、議会対策などそれ相応の時間はかかると思う。 A班としては、「5年後の開校を目標に、できるだけ早く進める」ことを方向性とする。 |
| | B班 | <ul style="list-style-type: none"> フレサよしみの近くに建設するとなれば、都市計画法に関する手続きだけで1年半はかかる。工事に入るまでに最低2年、また、工事にかかる期間が3年はかかることを考えると、開校までに最低5年はかかると見ていいだろう。 他の市町村の答申などを見ると、複数の統合をスケジュールで出している自治体もあれば、できるだけ早くという言葉で出している自治体もある。 |

| | | |
|---------------------------------------|-----|--|
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・どこに建設するかによって期間は大きく変わるので、できるだけ早くとしか言えないのではないかと思う。 ・町が既に持っている土地に建設するのであれば、大きく時間を短縮することは可能。 ・できるだけ早く開校を目指すことを方向性とする。 |
| 【その他留意事項】 小・中一貫教育の導入 | A 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・配布された資料では、全国的に見て義務教育学校が48校と少ないが、何か理由があれば教えてほしい。 ・義務教育学校は、学校が1つ、校長先生も1人、そして先生は小・中学校両方の教員免許が必要であり、そうした制約があることが要因の1つと考える。 ・最初から義務教育学校を作るという強い意志がなければ難しいと思う。 ・吉見町で検討する場合、義務教育学校は難しいので、進めるとすれば小中一貫校で検討することがいいかと思う。 ・吉見町としては、小中一貫教育を進めていくことが、今後、現代的な教育の流れと合致していくことになると言えるのではないか。 ・小中一貫校とした方が住民の理解も得られるのではないかと思う。 |
| | B 班 | <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫校は別の敷地でもいいのか。 ・同一敷地にある「施設一体型」のほかに、敷地が別でも「施設隣接型」、「施設分離型」がある。 ・小学校が統合し、小学校1校、中学校1校となれば、小中一貫教育を取り入れることが、必然の流れになると思う。 ・町でも「小中連携」は行っているが、その教育課程は小学校によりバラバラなので、小学校が1つになれば統一され、無駄がなくなる。 ・今は、小中9年間の中で、重複する授業もあるかもしれないが、一貫校であれば、一定のプログラムで教育課程が進められるため、無駄がなくなる。 |
| 【その他留意事項】 徒歩通学距離の目安 | | <ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスで通学だと体力面で心配だが、かといって、何キロ歩かせたいという事もない。 ・資料7では、現在の通学距離の状況が出ているが、ほぼ3キロ未満の通学距離であり、この辺が今後の検討の基準になると思う。 ・バスの運行本数や児童の搭乗計画など細かい部分は、本委員会での検討は難しいので、後々、専門委員会を立ち上げる必要があると考える。 |

| | |
|--------------------------------|--|
| <p>【その他留意事項】 スクールバスの検討</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・吉見町の中央付近に新校建設となると、町内の多くの地区でスクールバスを運行することになる。 ・バスの運行方法については、車両・運転手共に委託する方法と、車両は補助金を活用して購入し、運転手のみ委託する方法などがある。 ・バスの運行方法は、多様であり、例えば、停留所を設けるかどうか、仮に設けたとして、そこまでは班で来るのか、あるいは保護者を伴って来るのかなど他の市町村の運行方法が参考になると思う。 ・スクールバスに関しては、答申の中で、「スクールバスの運行に関してはこうしてほしい」といった形にしている市町村が多いと思う。 ・防犯パトロールの見地からすると、スクールバスになっても、集合してから停留所まで行くとなれば、今後も見守りは必要ということになる。できれば、各班が集まったところで乗せてもらいたい。 ・スクールバスの運行は、歩道整備などの改良も必要になると思う。 ・他の市町村の答申では、スクールバスの運行に関しては、時間と距離そして安全性を十分に配慮して検討を進めてほしいという例もあった。 |
| <p>【その他】</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・小学校を新設する場合、どれだけの面積が必要ですか。 ・吉見町含め、近隣の学校の敷地は広いと思います。これが、県南の市街地などでは、土地は確保できないかもしれませんが、国の基準で校舎内の面積は定められているため、階数を増やすことで対応しています。 ・敷地を有効活用するため、校舎の屋上にプールを設置している学校もある。 ・12月に実施予定の「あり方研究協議会調査研究報告書」説明会で保護者から出された意見を、検討委員会に反映させてほしい。 ・例えば、東二小の保護者から、現状を解消するため、とりあえず東一小と統合させてほしいなどの意見への対応も用意しておく必要はあると思う。 ・水害対策で、体育館を2階建てにするのはどうでしょうか。 ・体育館やプール等の配置は、工夫により面積も抑えられる。例えば、1階にプール、2階に体育館など。 ・上尾市にある小学校では屋上にプールがある。 |

● 1 校への統合再編（案）

Aパターン 1校 ≪学校の位置≫ 吉見町の中心部付近（新築）

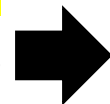
- 【メリット】
- ・将来的に1校への2段階統合の必要がない。
 - ・新築であり、当分の間、大規模な改修工事の必要がない。
 - ・国が示す適正規模や、保護者アンケートで示された望ましい、1学年当たりのクラス数となる。
 - ・町の中心部となることから、東西南北の全ての地域の保護者にとって平等の位置関係となる。

- 【デメリット】
- ・通学区域が町内全域となることから、スクールバス等の通学支援が必要となる。

| 対象校 | 令和3年度 | | 令和9年度（予想） | | | 令和9年度（予想） | | |
|--------|-------|-----|-----------|-----|---|-----------|-----|-----|
| | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 | | 学年 | 児童数 | 学級数 |
| 東第一小学校 | 166 | 6 | 124 | 6 |  | 1 | 63 | 2 |
| 東第二小学校 | 42 | 4 | 28 | 4 | | 2 | 81 | 3 |
| 南小学校 | 129 | 6 | 109 | 6 | | 3 | 74 | 3 |
| 西小学校 | 141 | 6 | 110 | 6 | | 4 | 89 | 3 |
| 北小学校 | 104 | 6 | 56 | 5 | | 5 | 96 | 3 |
| 西が丘小学校 | 69 | 6 | 71 | 6 | | 6 | 95 | 3 |
| 合計 | 651 | | 498 | | | | 498 | 17 |

Bパターン 2校 ≪学校の位置≫ 吉見町の小学校の内 2校

| 対象校 | 令和3年度 | | 令和9年度(予想) | |
|--------|-------|-----|-----------|-----|
| | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 |
| 東第一小学校 | 166 | 6 | 124 | 6 |
| 東第二小学校 | 42 | 4 | 28 | 4 |
| 南小学校 | 129 | 6 | 109 | 6 |
| 西小学校 | 141 | 6 | 110 | 6 |
| 北小学校 | 104 | 6 | 56 | 5 |
| 西が丘小学校 | 69 | 6 | 71 | 6 |
| 合計 | 651 | | 498 | |



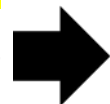
| A1校 令和9年度(予想) | | |
|---------------|-----|-----|
| 学年 | 児童数 | 学級数 |
| 1 | 36 | 2 |
| 2 | 45 | 2 |
| 3 | 35 | 1 |
| 4 | 51 | 2 |
| 5 | 38 | 2 |
| 6 | 56 | 2 |
| | 261 | 11 |

(東一小・東二小・南小)

| B1校 令和9年度(予想) | | |
|---------------|-----|-----|
| 学年 | 児童数 | 学級数 |
| 1 | 27 | 1 |
| 2 | 36 | 2 |
| 3 | 39 | 2 |
| 4 | 38 | 2 |
| 5 | 58 | 2 |
| 6 | 39 | 2 |
| | 237 | 11 |

(西小・西が丘小・北小)

| 対象校 | 令和3年度 | | 令和9年度(予想) | |
|--------|-------|-----|-----------|-----|
| | 児童数 | 学級数 | 児童数 | 学級数 |
| 東第一小学校 | 166 | 6 | 124 | 6 |
| 東第二小学校 | 42 | 4 | 28 | 4 |
| 南小学校 | 129 | 6 | 109 | 6 |
| 西小学校 | 141 | 6 | 110 | 6 |
| 北小学校 | 104 | 6 | 56 | 5 |
| 西が丘小学校 | 69 | 6 | 71 | 6 |
| 合計 | 651 | | 498 | |



| A2校 令和9年度(予想) | | |
|---------------|-----|-----|
| 学年 | 児童数 | 学級数 |
| 1 | 24 | 1 |
| 2 | 33 | 1 |
| 3 | 33 | 1 |
| 4 | 50 | 2 |
| 5 | 32 | 1 |
| 6 | 36 | 2 |
| | 208 | 8 |

(東一小・東二小・北小)

| B2校 令和9年度(予想) | | |
|---------------|-----|-----|
| 学年 | 児童数 | 学級数 |
| 1 | 39 | 2 |
| 2 | 48 | 2 |
| 3 | 41 | 2 |
| 4 | 39 | 2 |
| 5 | 64 | 2 |
| 6 | 59 | 2 |
| | 290 | 12 |

(西小・西が丘小・南小)

「吉見町立学校あり方研究協議会調査研究報告書」説明会 結果概要

1 説明会の概要

| | | |
|-------|--|---------------------------------|
| 東 地 区 | 開催日時 | 令和3年12月10日(金) 午後6時30分～午後7時30分 |
| | 開催場所 | 東公民館 大会議室 |
| | 出席者 | 18名(保護者14名・その他4名) |
| 西 地 区 | 開催日時 | 令和3年12月11日(土) 午後2時00分～午後3時00分 |
| | 開催場所 | 西公民館 大会議室 |
| | 出席者 | 27名(保護者20名・その他7名) |
| 南・北地区 | 開催日時 | 令和3年12月12日(日) 午前10時00分～午前11時00分 |
| | 開催場所 | 吉見町役場 大会議室 |
| | 出席者 | 38名(保護者34名・その他4名) |
| 内 容 | 1 吉見町立小中学校の現状 1) 児童生徒数の将来推計 2) 学校規模の定義 2 保護者アンケート調査結果 3 学校の適正規模への提言 4 吉見町立学校適正規模等検討委員会へ諮問 | |

2 説明会で出された主な質疑、意見等

| 質問・意見 | 回答 |
|---|---|
| 児童・生徒が減少する中、町では再編・統合のシミュレーションはできているのか。 | <p>教育委員会では、学校の再編・統合にあたり、「学校をいくつにするか」、また、再編・統合するとしたなら「どこに配置するか」などについて、吉見町立学校適正規模等検討委員会(以下、「検討委員会」という。)を設置して諮問をしており、現在、検討を行っております。</p> <p>今年度中には答申をいただく予定となっております。答申を受けた後、町と教育委員会で協議し、具体的なスケジュール等が示せるものと考えています。</p> |
| 具体的に、どこの学校がどうなるのか。また、小・中一貫校について、詳しく教えていただきたい。 | <p>1点目ですが、現在、町内の小学校6校全てを再編・統合の対象として、話し合いが進められています。</p> <p>2点目の、小・中一貫校ですが、現在、県内で小・中一貫教育を実施しているのが、坂戸市、飯能市、春日部市にそれぞれ1校あります。また、小・中一貫校のメリットとしまして、小学校から中学校に進級した際に不登校を起こす「中1ギャップ」の解消や、中学校の専門的な免許を持つ教師が、指導を行うことにより、学力向上が期待されるようになります。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>児童生徒の推移では、25年後には500人を切っているが、この数字の根拠はあるのか。また、町は将来的にどこを目標に考えているのか。</p> | <p>平成27年に作成されました、「吉見町人口ビジョン」を基に推計しました。また、現在進められています検討委員会では、10年後、20年後を見据えた検討を行っております。</p> |
| <p>小学校は町内で1校ということで町は考えているのか。また、再編・統合で問題点はあるのか。</p> | <p>今年度、答申が出され、来年度からは、計画（案）の策定などが進められると思われまますので、その際には皆さまに具体的な案をお示しできるものと考えています。また、再編・統合された場合、問題点としては、通学距離の問題は避けては通れませんので、これについても、検討委員会で検討が進められています。</p> |
| <p>他の自治体でも、統合で成功した例もあるので、統合自体に異論はないが、他の市町村から吉見町に来たいと思われるような学校にしてみたい。</p> | <p>そのように進めてまいります。</p> |
| <p>自転車の交通安全にも配慮してほしい。また、小・中一貫教育に高校を入れることはできますか。</p> | <p>通学路の関係につきましては、町の担当課に伝えさせていただきます。また、小・中一貫校は町が設置者となりますが、高校は県が設置者ですので、実現は大変厳しいものと考えます。</p> |
| <p>将来的に小学校は1つになるのか。また、その場合、時間はかかるのか。</p> | <p>将来的に再編・統合は避けられないものと考えております。現在、あり方研究協議会の提言を受け、検討委員会で小学校をいくつにするかの検討が進められていますので、その答申が出ましたら、計画（案）やスケジュールなどを皆さまにお示しできるものと考えております。</p> |
| <p>将来的に統合した場合、通学のアクセスの問題があると思うが、どのように考えているのか。</p> | <p>近隣市町村で行われているスクールバスの運行等を参考に、現在、検討委員会の中で検討がされています。</p> |
| <p>スクールバスを利用すると子どもたちの体力低下が心配されるという話を聞いたことがあるので、その対策などが計画に盛り込まれることを要望します。</p> | <p>スクールバスの利用に伴う子どもたちの体力低下について、事例を参考に、解消を図りたいと考えております。</p> |
| <p>小学校同士で交流を深めれば、中学校に上がった時も顔見知りが多いことで友人もできやすくなるかと思うが、そうした計画はあるのか。</p> | <p>今年度、宿泊学習を西が丘小と東第二小の合同で実施しました。更に、来年度からは他の学校での実施も検討しております。また、ICT教育の一環として、学校同士をオンラインで繋ぎ、授業の発表会を行うなどしております。</p> |

| | |
|--|---|
| <p>ハード面とソフト面の両方で検討していると思うが、他の自治体の状況などから、どのくらいの期間を要するのか。</p> | <p>嵐山町では、計画を策定してから新たな校舎を建設し、開校するまで概ね5年程度かかるとしていましたが、町教育委員会として、現時点で具体的に何年かかるかは、まだお示しできない状況です。</p> |
| <p>学校が途中で変わると、環境が変わることで子どもたちにもストレスがかかると思うので、メンタル面でも考慮していただきたい。</p> | <p>再編・統合を進める際には、考慮して進めてまいります。</p> |
| <p>複式学級は、現在のところ東二小学校だけのようだが、今後、他の学校で複式学級になる予定はあるのか。</p> | <p>現在の町内の0歳児から5歳児が、そのまま小学校に入学し、進級した場合、令和9年度には北小学校で複式学級ができる可能性はあります。</p> |
| <p>答申が出た後、学校の統廃合に関して、どのように保護者に対して示されるのか。</p> | <p>検討委員会からの答申を受け、来年度、教育委員会と町で協議をしまして、再編・統合に関する計画（案）をお示しさせていただき、その後、住民説明会等を行う予定ですが、現在は、まだ答申が出ておりませんので具体的に、いつ頃こうなるということは、まだお示しできない状況です。</p> |
| <p>子どもたちの人数が少なくなっていくのは避けられないとして、吉見町として増やす努力等はしているのか。</p> | <p>町では、子育て世代を応援し、転入を促進する施策をとっておりますが、教育委員会としましては、現状の児童数の推移を踏まえ、再編・統合に向け協議を進めております。</p> |
| <p>アンケート結果では、複数学級を望む声が高いこともあるので、再編・統合に関してもあまり長期に構えるのではなく、短期間で進めてほしいと思う保護者は多いと思いますので、できるだけ短期間で、早急に進めてほしいと要望します。</p> | <p>教育委員会としましても保護者の意向を汲みまして、速やかに進めてまいりたいと考えます。</p> |
| <p>学用品や体操着、帽子などは、各学校によって違うと思いますので、再編・統合に際しては、できるだけ保護者負担のないように調整していただくよう要望します。</p> | <p>再編・統合の際は、時間を要しますので、その間に保護者を交えた懇談会を行うことになると思います。そこで、スクールバスや校歌、学用品などについての話し合いが行われることになると思います。</p> |
| <p>再編・統合と併せ、学童保育についても一緒に検討していただきたい。現在、学童保育を運営するのは保護者であり、大変な負担となっているので、町での運営等も検討してほしい。</p> | <p>小学校の再編・統合に関連することでございますので、今後、計画（案）の中でお示ししたいと思います。</p> |

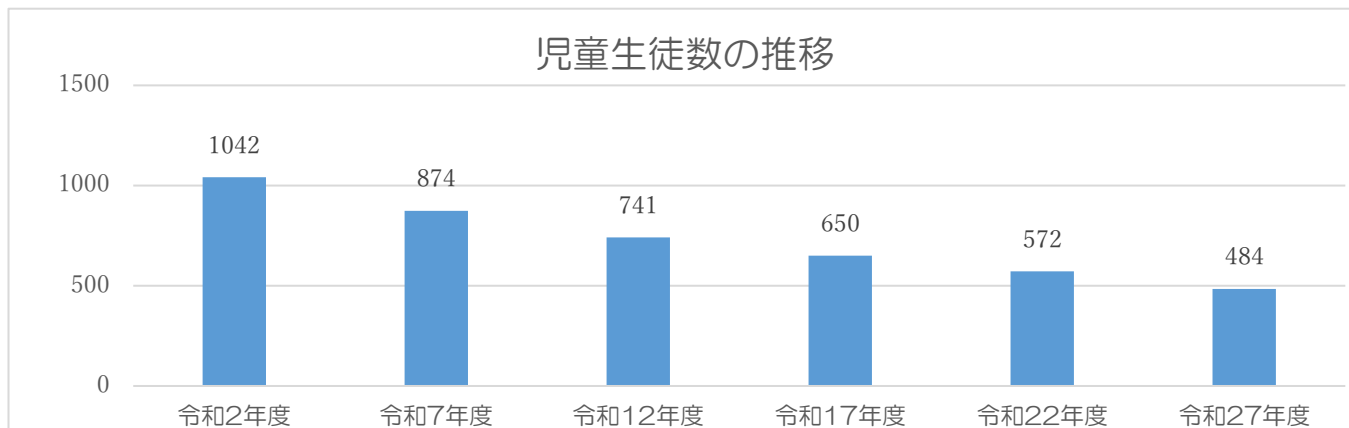
吉見町立学校あり方研究協議会
調査研究報告書

<概要版>

令和3年12月
吉見町教育委員会

1 吉見町立小中学校の現状

1 児童生徒数の将来推計



2 学校規模の定義

【学級編制に関する国・県の基準】

1 学級あたりの児童・生徒数の上限（令和2年度現在）

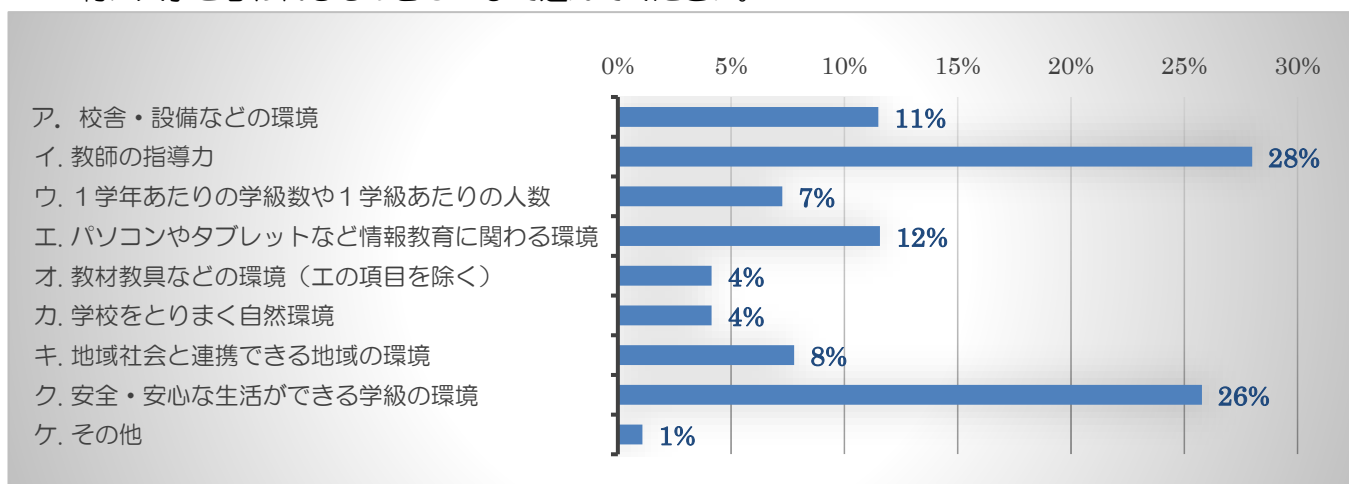
| | 小学1年生 | 小学2年生 | 小学3～6年生 | 中学1年生 | 中学2・3年生 |
|-----------------------|---------------------|-------|---------|-------|---------|
| 国の基準 | 35人 | 40人 | 40人 | 40人 | 40人 |
| 埼玉県の基準 | 35人 | 35人 | 40人 | 38人 | 40人 |
| | 小学生 | | | 中学生 | |
| 複式学級 (引き続く2の学年で編制) | 16人 (1年生を含む場合8人) | | | 8人 | |
| 特別支援学級 | 8人 | | | 8人 | |

2 保護者アンケート調査結果

1. 調査実施時期 令和2年7月
2. 調査対象 町立小中学校の保護者・よしみけやき保育所の保護者
よしみ幼稚園の保護者
3. 回収率 81.1%
保護者数（世帯数） 1,127人
回収数 914件

集計結果（小学校・中学校・保育所・幼稚園）

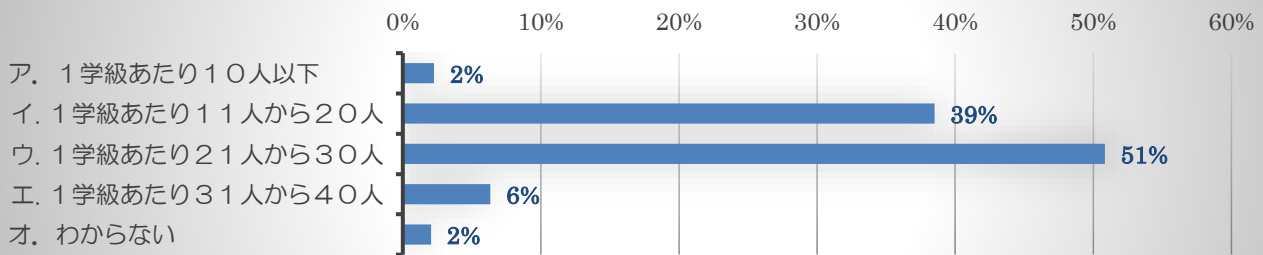
- 1 お子さんにとって、学校の教育環境で大事なものはどのようなものとお考えですか。
特に大事と思われるものを3つまで選んでください。



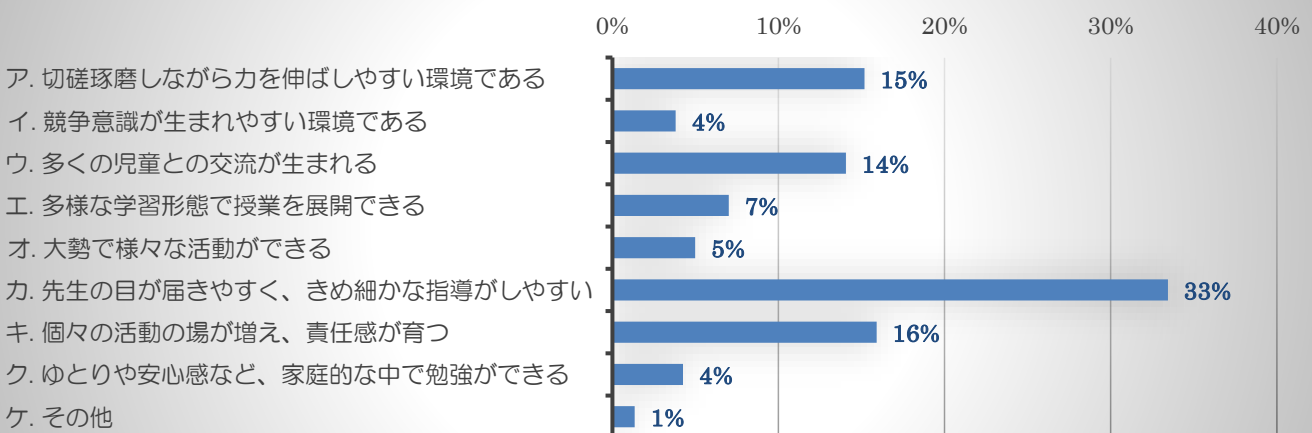
2 小学校の学級人数について

(1) 小学校の児童数は、法令で1学級40人（1年生は35人）を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の1学級あたりの人数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～オの中から1つ選び、○で囲んでください。



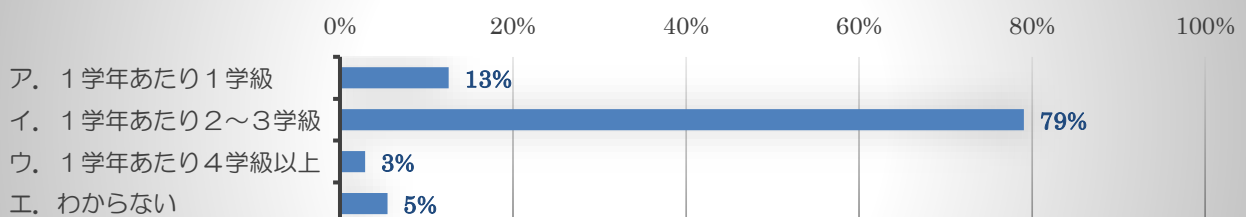
(2) (1) の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選んでください。



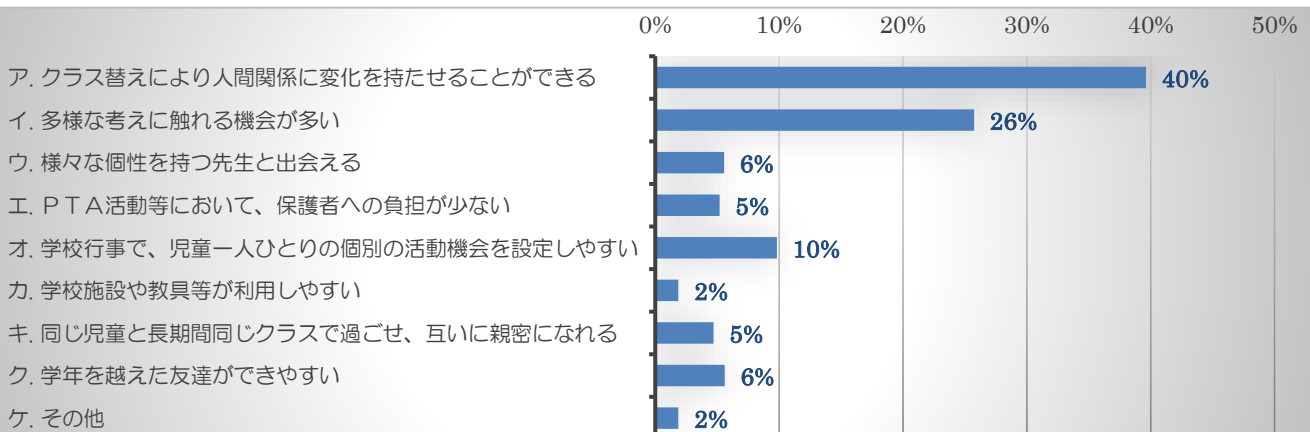
3 小学校の学級数（学校規模）について

(1) 小学校の学級数は、法令※で1学年あたり2～3学級（1学校あたり12～18学級）を標準としていますが、吉見町の子どもたちのより良い教育のためには、小学校の学級数は、どのくらいが望ましいと思いますか。

次のア～エの中から1つ選び、○で囲んでください。



(2) (1) の回答を選んだ理由について、次のア～ケの中から2つまで選んでください。



3 学校の適正規模への提言

今後の検討の視点と提言について

[提言1 学校規模・学級編制]

国の基準にあるように、小学校はクラス替えができ、同学年の教員同士で学習指導等についての相談、研究、協力などができる各学年2学級以上、中学校ではクラス替えができ、授業時数の多い教科（国語・社会・数学・理科・英語）に複数の教員を配置できる各学年3学級以上を確保することが望ましい。また、1学級の人数は、吉見町の実態を考慮し、より良い教育環境を構築する視点から、30人以下とすることが望ましい。

[提言2 望ましい学校規模の確保と将来の学校配置の方向性]

本町においては、将来的に望ましい学校規模を確保する方策として、特に小学校の学校規模については、小学校同士の統合、あるいは小学校と中学校を再編しての小中一貫教育を実施することなどを検討する必要がある。同時に、児童数の減少が著しい小学校においては、将来の学校配置について、できるだけ早い時期から検討を開始することが望ましい。

[提言3 老朽化した学校施設への対応]

学校施設は、安全・安心を最優先に子どもの学習環境、生活環境に十分配慮し、快適性、機能性、効率性等の観点から整備・充実していくことが望ましい。長期的には、将来の本町における適正な学校規模や学校配置などを検討し、財源確保や学校の統合再編、地域のコミュニティ活動や防災対策の拠点なども含め、計画的な整備、利用計画を作成することが望ましい。また、短期的には、現在の老朽化した施設について、特に安全性、快適性の観点から整備をすることが望ましい。

4 吉見町立学校適正規模等検討委員会へ諮問

(広報よしみ 令和3年10月号より抜粋)

設置しました 吉見町立学校適正規模等検討委員会

☎教育総務課総務係 TEL 54-8938

教育委員会では、児童生徒数の減少に伴い学校の小規模化が進行する中、町の将来を担う子どもたちにより良い環境の中で効果的な教育が受けられるよう「吉見町立学校あり方研究協議会」を設置し、幅広い見地から調査研究をし、調査研究報告書にまとめていただきました。

その報告書にある提言をもとに、児童生徒数の減少に伴って生じている教育課題を緩和、解消するために、教育委員会では「吉見町立学校適正規模等検討委員会」を設置しました。

教育委員会では、本検討委員会に諮問し、町立小中

学校全校を対象として、学校の適正規模、適正配置等に関する基本的な考え方と、具体的な方策について検討していただき、答申をいただく予定です。

7月21日(休)には、第1回吉見町立学校適正規模等検討委員会が開催されました。

当日は、大澤教育長から14名の委員の皆さんに委嘱状が交付され、委員長は久保田秀至さん(古名)、副委員長は小池幸さん(流川)に決定しました。

※会議の傍聴も受け付けています。次回委員会開催日、会議資料、会議録は、町ホームページに掲載します。

諮 問 書

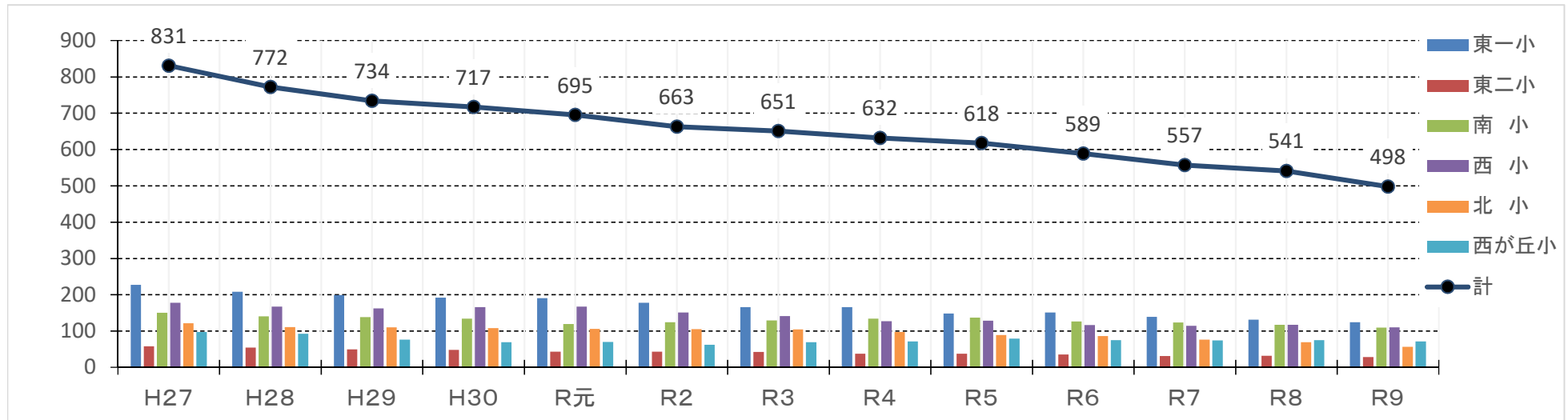
吉見町立小学校及び中学校におけるより良い教育環境を整備し、充実した学校教育の実現に資するため、吉見町立学校適正規模等検討委員会設置要綱第2条により、次に掲げる事項について貴委員会に諮問します。

諮問事項

- (1) 学校の適正規模に関すること。
- (2) 学校の適正配置に関すること。
- (3) その他教育委員会が必要と認めること。

小学校別の児童数の推移

| 学校名 | H27 | H28 | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | 備考 |
|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| 東一小 | 227 | 208 | 199 | 192 | 190 | 178 | 166 | 166 | 148 | 151 | 139 | 131 | 124 | |
| 東二小 | 58 | 54 | 49 | 48 | 43 | 43 | 42 | 37 | 37 | 35 | 31 | 32 | 28 | |
| 南 小 | 150 | 140 | 138 | 134 | 119 | 124 | 129 | 134 | 137 | 126 | 123 | 117 | 109 | |
| 西 小 | 178 | 167 | 162 | 166 | 167 | 151 | 141 | 127 | 128 | 116 | 114 | 117 | 110 | |
| 北 小 | 121 | 111 | 110 | 108 | 106 | 105 | 104 | 97 | 89 | 86 | 76 | 69 | 56 | |
| 西が丘小 | 97 | 92 | 76 | 69 | 70 | 62 | 69 | 71 | 79 | 75 | 74 | 75 | 71 | |
| 計 | 831 | 772 | 734 | 717 | 695 | 663 | 651 | 632 | 618 | 589 | 557 | 541 | 498 | |



※推計の方法について

児童・生徒数の将来推計について、令和4年度以降の就学見込みを、調査基準日(令和3年4月21日)に住居登録のある0歳から5歳までの人口を行政区ごとに算出し、それを基に小学校別に集計しました。

なお、児童・生徒数の推移については、令和3年度の人数がそのまま進級することを前提としています。